

内閣官房 行政改革推進本部 第6回懇談会  
外部機関・人材との連携が生む教育的効果... SSWrとの協働

H26. 3. 11



元 寝屋川市立和光小学校 校長 丸山 涼子

ひとひひとひがたからもの

# 学校の現状と過去の経緯

荒廃から脱却できずに苦しんでいる学校は多い

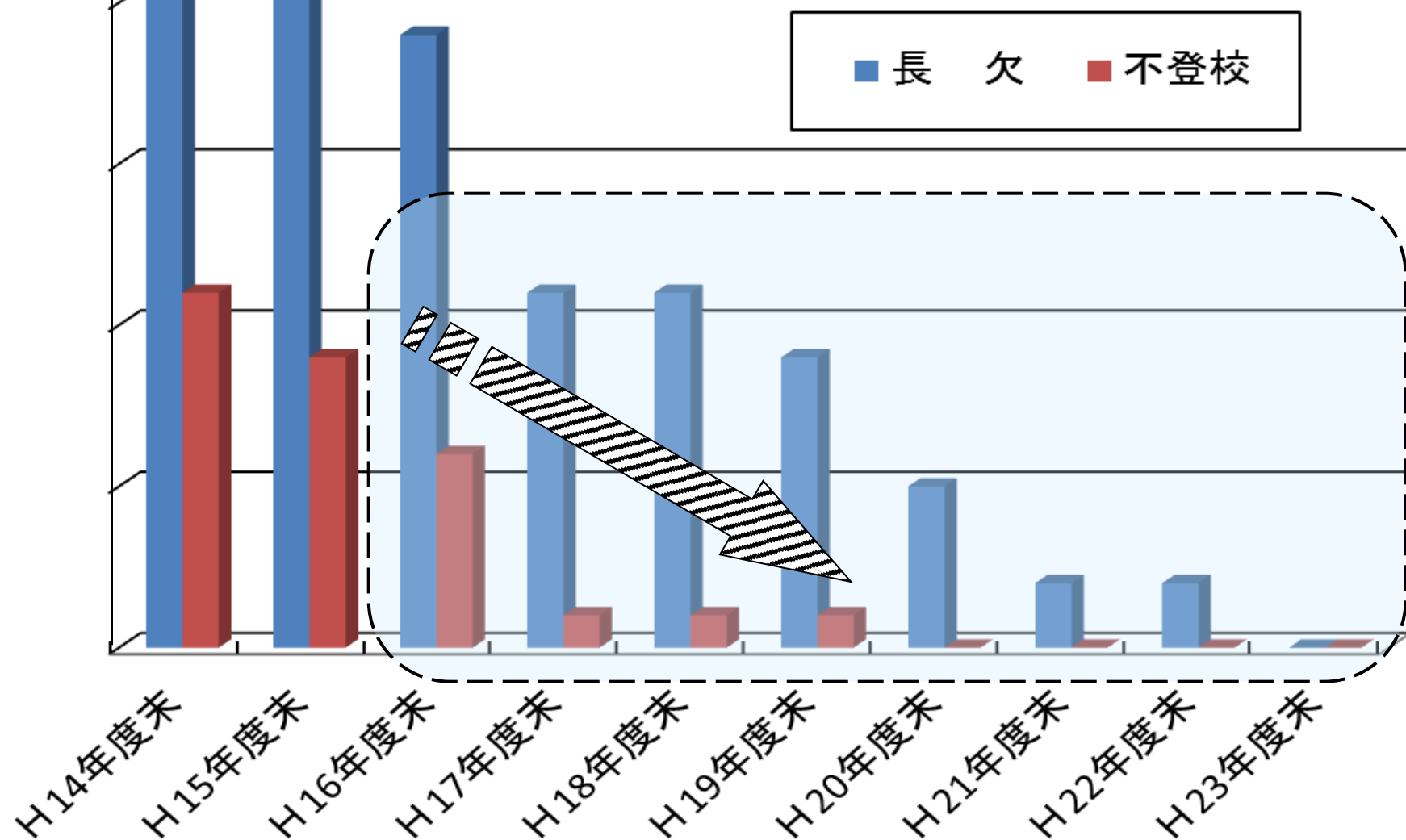
問題行動への事後対応が事態を一層困難に

「どうせ」「だって」「ムリ」の言葉が飛び交い  
不登校と喧嘩と低学力に喘ぐ学校

無気力で自尊心の低い子ども達

会議は対症療法の域を出ず、学校は疲れていた

## 長欠・不登校児童の推移



SSWrという外部人材との協働が  
荒れからの再生をめざした取組の大きな力に

(1) 教職員の「意識改革」

(2) チーム対応という「組織改革」

(1)(2)を学校改革の両輪に据えることで  
学校は甦り  
「学力向上をめざした学びの基盤」を築けた

## H17 大阪府 SSWr活用事業を新規実施

職員からは戸惑いの声も...「何をする人？」

SSWr...「問題行動の背景を一緒に考えたり、  
外部の関係機関に繋いだりする、  
動くカウンセラーのようなものだと思って下さい。  
先生たちの仕事を楽にするために来ました」

問題行動の背景にはきっと様々な要因が  
絡み合っている

学校だけで何とかしようとする事にそもそも  
無理があるのではないか

私は、直感的に、そんな人材が欲しかった！  
と思った

まず校長が「スクールソーシャルワーク」を理解

子どもの状況・学校の抱えている問題を  
SSWrと共通理解

「生徒指導の究極の目標は学力の向上だ」  
という考え方が一致

確信を持って「学校とSSWrの協働」を  
学校改革の方策に据えた

職員に「スクールソーシャルワーク」を  
理解してもらうために

SSWrからの提案を全て実行

方針を決断するのは校長の仕事

ステップは次の(1)～(5)

# 学校とSSWrとの協働へのステップ

(1) 職員への啓発...心の壁を取り払う

(2) 関係機関巡り...機関との連携

(3) 基礎研修の実施...一気に加速

- ①SSW基礎研修 ②発達障がい研修
- ③虐待研修 ④ケース会議模擬演習

(4) ケース会議の定例開催...毎週定例開催

(5) コーディネーター(CO)の育成...困りごと担当  
子どもの情報は管理職よりもまずCOの耳に  
入れるよう職員に周知

## SSWによる基礎研修

- ①SSW基礎研修
- ②児童虐待研修
- ③発達障がい研修
- ④ケース会議模擬演習



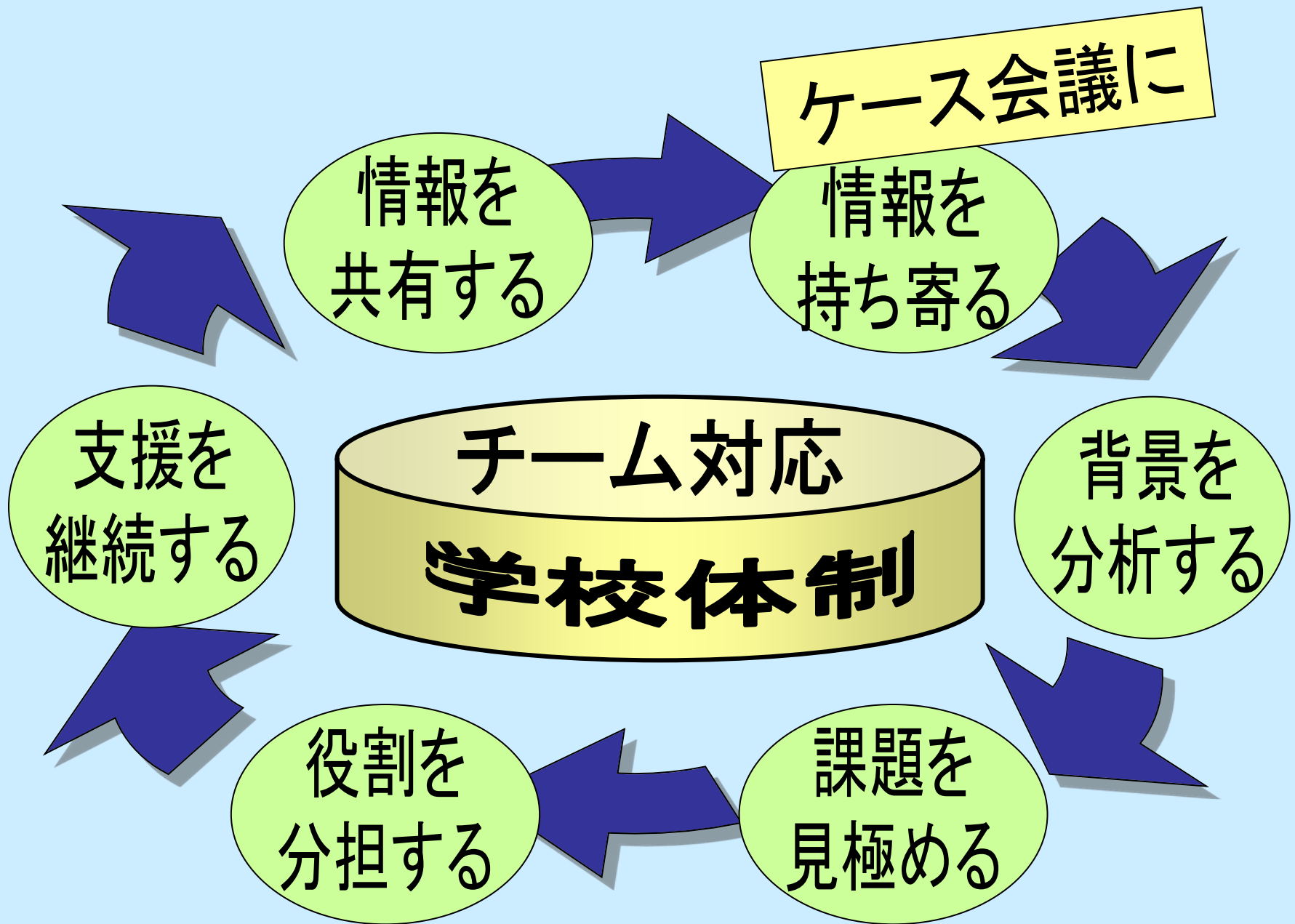
職員からの要望で  
①②③の研修は  
毎年実施

好評だった  
ロールプレイ





ケース会議を開き  
個別の課題背景を見立て  
学校としての対応を協議する



# コーディネーターの仕事

①登校支援

③個別対応

⑤相談活動

⑦校内研修の企画

⑧関係機関との連携

⑨ケース会議の開催

⑩長期休業中の対策

②教室巡回

④家庭支援

⑥情報管理

下足室で登校状況の把握



# 学校の課題解決システム

コーディネーターの育成

コーディネーターに情報が集中する組織作り

チーム対応に向けた教職員の意識改革

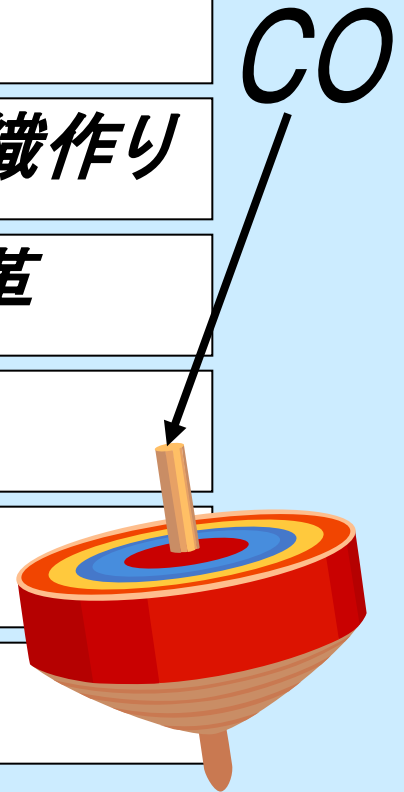
ケース会議の定例化

個に応じた支援と学力保障

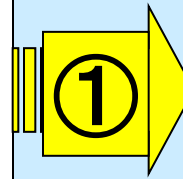
地域の教育力の活用



問題の早期対応 と 未然防止の生徒指導  
から 一人一人の力を拓く開発的生徒指導へ

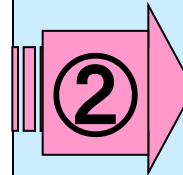


生活規律に支援が必要な児童  
家庭状況に支援が必要な児童



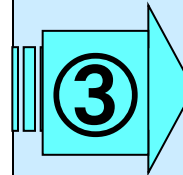
家庭支援  
虐待対応

発達に課題を抱える児童  
人間関係に支援が必要な児童



支援教育  
体制整備

基礎学力に支援が必要な児童



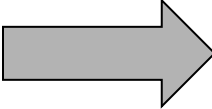
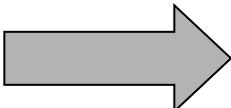
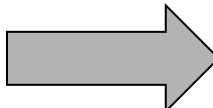
少人数  
学習体制

気になる子どもの課題把握 と  
個に応じた学習 により



学習意欲が 向上した

## 個に応じた学習支援の徹底

問題を取り除くと  学びに向き合い始めた  
 生活態度に変化  不登校の解消へ

徹底的な基礎学力補充への取組により成果

- (1) 徹底的な音読練習
- (2) 徹底的な漢字指導
- (3) 徹底的な計算力指導
- (4) 語彙を補うための辞書引き学習の徹底
- (5) 言語力ワークによる要点理解学習の徹底

やっぱり子どもは学びたい  
ほめてほしい

# SSWr活用の成果

## (1)教職員の意識改革

.....「困った子」は「困っている子」

毎週のケース会議＝事例研修

子どもの見方の変化でアセスメント力が深化

問題の多くは「虐待」と「発達の課題」

課題の分析を新たな研修計画に練り上げる

# SSWr活用の成果

## (2) 学校の組織改革

.....「チーム対応の学校体制」

問題の本質を多面的に捉える力

様々な立場の職員が問題解決の役割を分担

一人で抱え込まない体制 が安心して子ども  
に向き合える学校への変身を可能にした

## SSW活用で何が変わったのか

- ①研修により教職員の子どもの見方が変わった  
「困った子」から「困っている子」へ
- ②ケース会議により協力体制が広がった  
「担任一人の抱え込み」から「チーム対応」へ
- ③関係機関との密接な連携により  
一人ひとりの課題に応じて支援できた
- ④多くの事例が改善された
- ⑤意欲、集中力、自尊感情が高まり  
学校本来の「学習」に取り組めるようになった
- ⑥気がついたときには「不登校」がなくなっていた

# 学校運営組織図 (部 分)

校長・教頭

職員会議

連絡調整委員会

支援教育校内委員会  
(校長・教頭・教務・学年1・  
支援担任1・養護教諭  
コーディネーター・家庭支援人材)

特別委員会  
(卒業式・入学式・あゆみ検討・  
体罰セクハラ防止・小中一貫)

気になる子どもの  
ケース会議

SSWの  
参加

気になる子どものケース会議

校長・教頭・教務・コーディネーター・担任・  
支援担任・養護教諭・家庭支援人材・SSW他

子ども・家庭支援  
ケース会議

発達課題・支援教育  
ケース会議

# 外部の関係機関・人材・地域家庭との連携

誰がどのように関わることが子どもにとって  
「最善の利益を保障する」ことになるのか

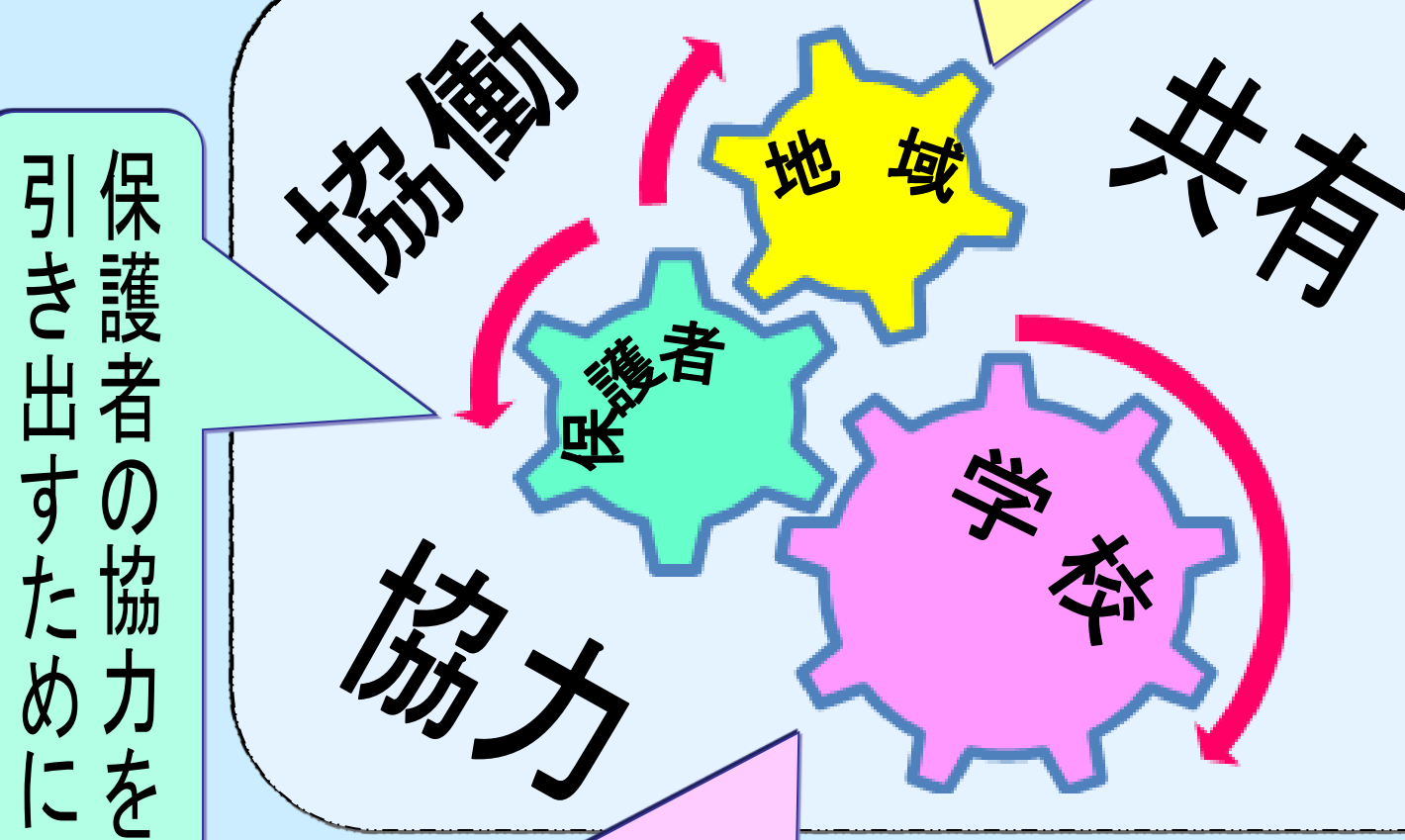
状況に応じた柔軟な活用を図ることが大切  
児童相談所・家庭児童相談室・保健所・警察  
サポートセンター・SSWr・SC・支援人材

## 学校の主体性と職員の「本気度」

解決の主体は外部人材ではなく「学校」  
学校が力をつける

# 地域を巻き込む仕掛けづくり（協働）

地域とのつながりを深め  
課題・目標を共有するために



保護者の協力を  
引き出すために

小中一貫教育  
中学校区の取組

学校が成すべきことは何か

## 基礎学力向上への取組

|       |   |   |
|-------|---|---|
| モジュール | 音 | 読 |
|       | 計 | 算 |
|       | 漢 | 字 |

H18. 4より  
モジュール学習  
導入



百マス計算



音読練習



漢字の空書き

# 「辞書引き学習」と「言語力ワーク」により 言葉への興味と飛躍的な語彙の獲得がみられた



# 校内漢字検定

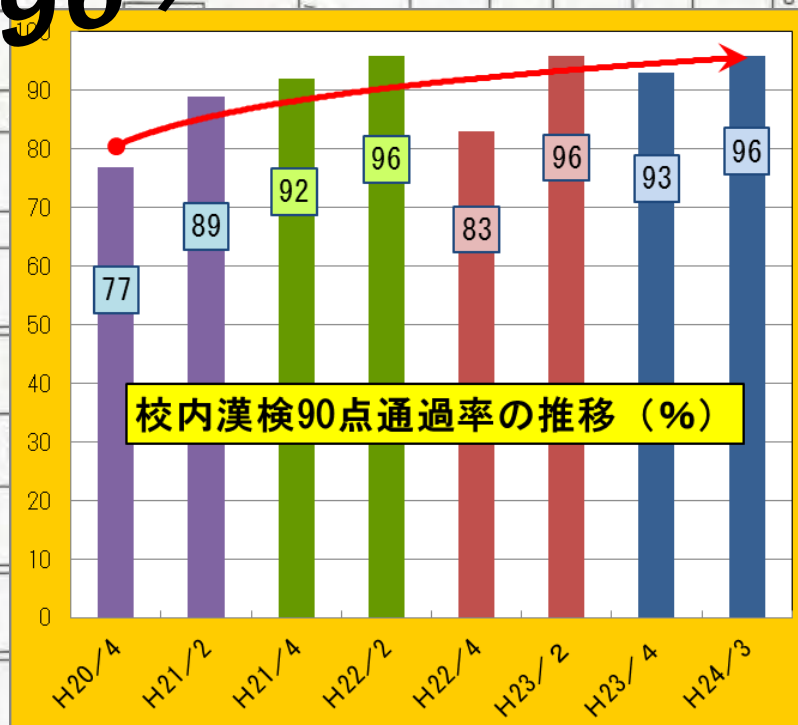


639人の

校内

漢検

90点合格  
通過率96%へ



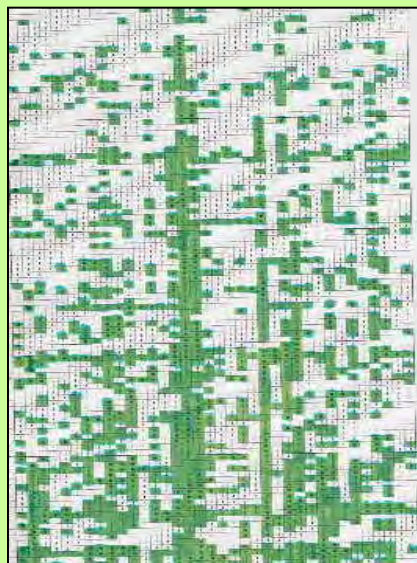
学習効果は他教科へも波及

# 学力を鍛えることができるようになった



## 漢字力

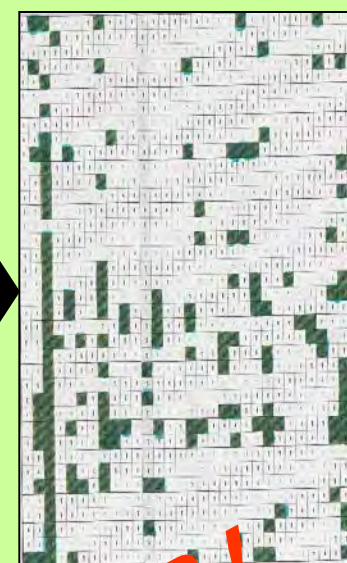
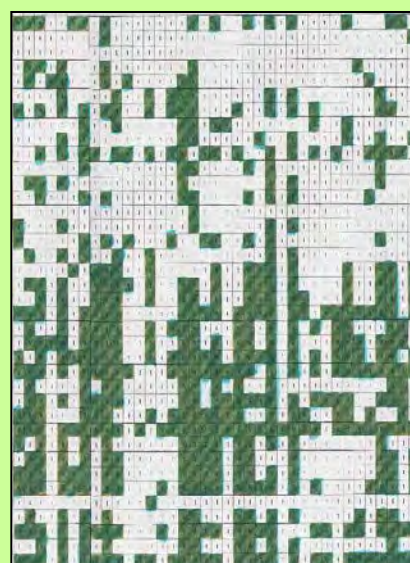
H20 (5年) / H22 (5年)



UP!

## 計算力

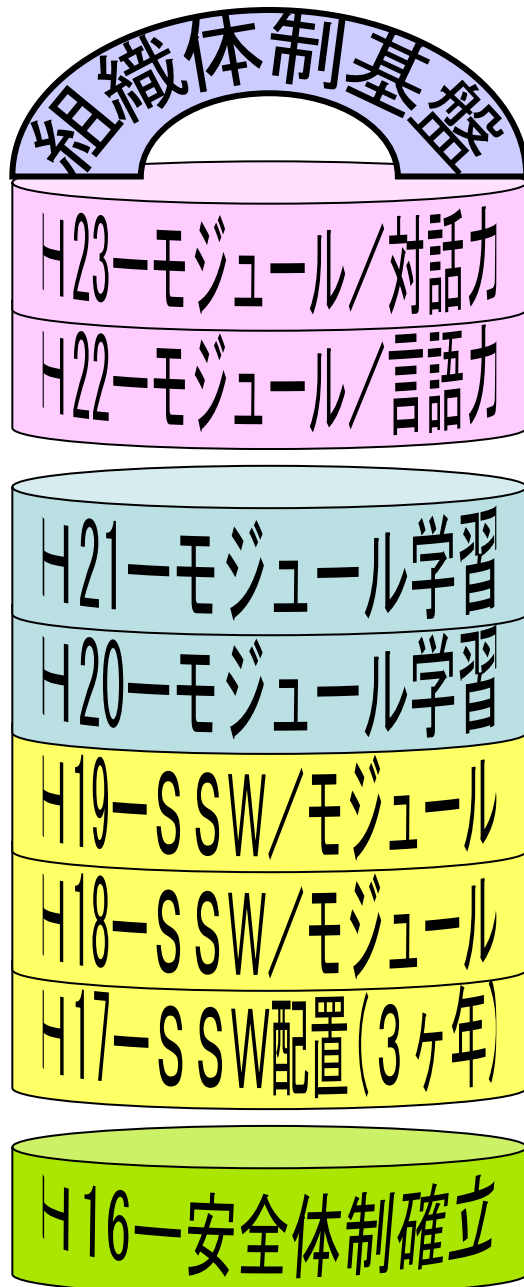
H20 (5年) / H22 (5年)



UP!

大阪府つまずき調査の経年比較 ビフォー／アフター

学力向上  
↑  
生徒指導  
↑  
安全



## 学校改革のあしあと

4期/  
子どもの自信回復と  
学力の向上

3期/  
徹底反復で  
基礎学力育成

2期/  
SSWとの  
協働による  
学びの基盤作り

1期/  
安全体制から  
学校改革の基盤作り

## 成果と発信

「総合教育技術」鈴木副大臣の評価  
NHK「子どもを守れ」放映 (SSW)  
橋下知事視察/NHK取材 (学力)  
『学力向上につくす人びと』出版

大阪府教育委員会表彰 (学力)  
NHKニューステラス (学力)  
文科省表彰 (キッズ) / 朝日「ルポ学校」  
文科省視察/NHK四国放送局 (SSW)  
参議院・文科省視察/NHK (SSW)  
文科大臣表彰/総理大臣表彰 (安全)  
文科大臣表彰 (安全) / 市民集会発表  
安全シンポジウム読売新聞特集記事  
子どもを守る市民集会発表 (安全マップ)  
NHK週刊子どもニュース放映 (マップ)

子どもを守る市民集会発表  
(つながり合う心で守る安全)

どの子もみんな受け入れて  
「生きる力」と「確かな学力」をつける  
公立小学校としてのプライドにかけて  
教育を実践

職員みんなで取り組んだ足跡が

「ひとりひとりがたからもの」

という教育理念を生み出しました

